地域活性化のための
近代化産業遺産活用ワークショップの
活動報告

西尾敏和
群馬県立高崎工業高等学校教諭
（2010.8.6）

私の立場（自己紹介を含めて）

- 群馬県立高崎工業高等学校教諭（土木科）
- 技術士補（建設部門）
- 2級技術者（土木学会）

教師であり技術者として（技術士を目指し）、
群馬県の歴史まちづくり、その他のまちづくりを
推進する中心的な役割を担う

ハード（インフラ整備）・ソフト（伝統文化活用）を連携させた総合的な支援を行うのが国土交通省政策の一つとして「都市・地域整備」

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

ホームに戻る | 国土交

ホーム >> 政策・仕事 >> 都市・地域整備

都市・地域整備 | 都市・地域整備トップ

主な施策

- 都市計画
- 景観まちづくり
- 歴史まちづくり
- 市街地整備
- 都市再生
- 都市環境
- 中心市街地活性化のまちづくり
- 民間都市開発
- 街路・連立・新交通

「都市・地域整備」の一つとして
歴史をまちづくりに活かす
「歴史まちづくり」に着目

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

ホームに戻る | 国土交

ホーム >> 政策・仕事 >> 都市・地域整備 >> 歴史まちづくり

歴史まちづくり

| 都市・地域整備のトップ | 公園とみどり | 景観まちづくり

歴史的風致維持向上計画
認定状況

主な施策

- 歴史まちづくり法
- 古都保存法
- 明日香法
- 各種支援制度

トピックス

- 歴史的風致維持向上計画の認定（京都市）（2009/11/1

「歴史まちづくり法」に基づき
歴史まちづくり計画を
市町村が地域と連携して
立てる

「歴史的風致維持向上計画の認定事例」

「亀山市歴史的風致維持向上計画」

計画期間：平成20年度～29年度

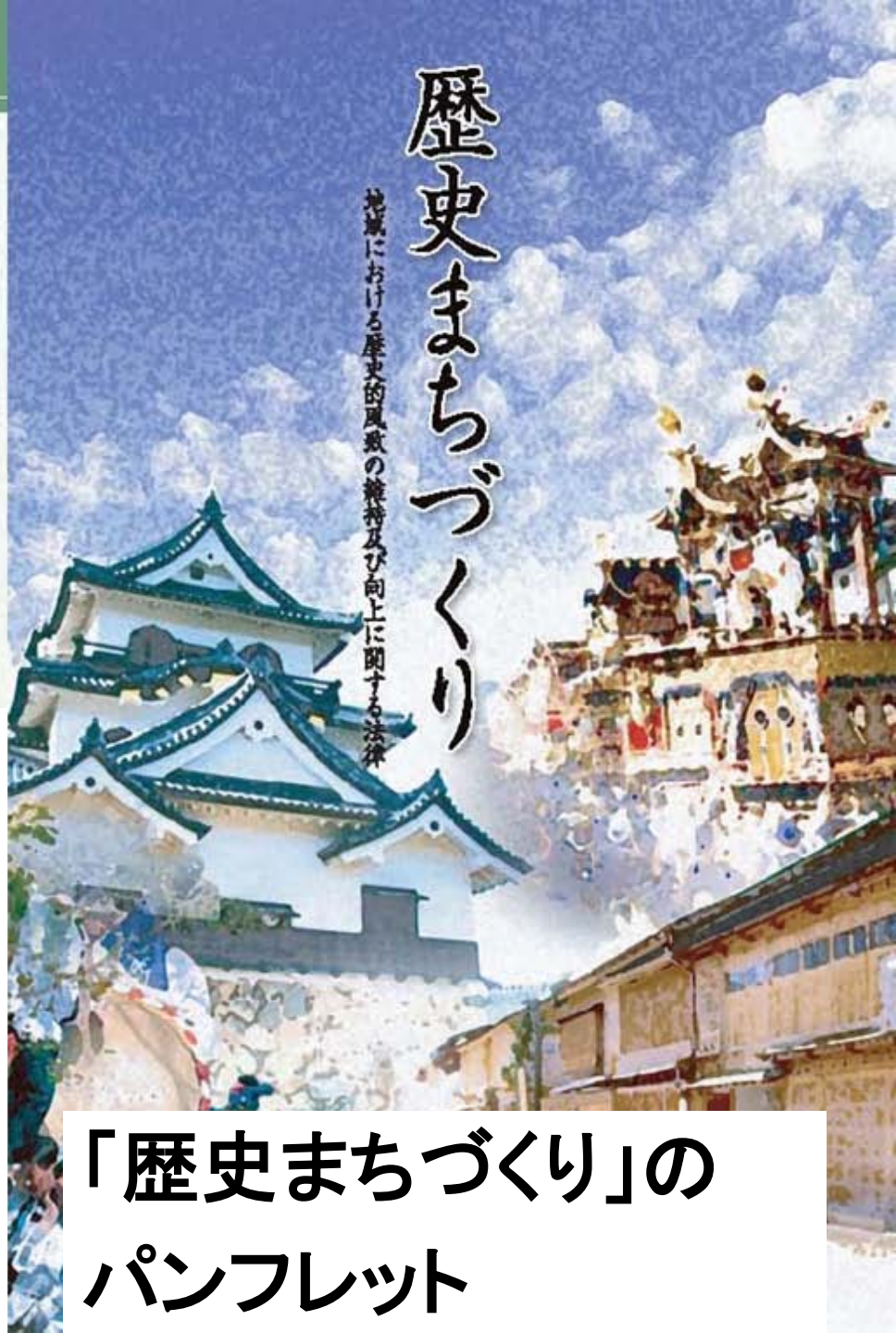
三重県亀山市

亀山市の維持向上すべき歴史的風致

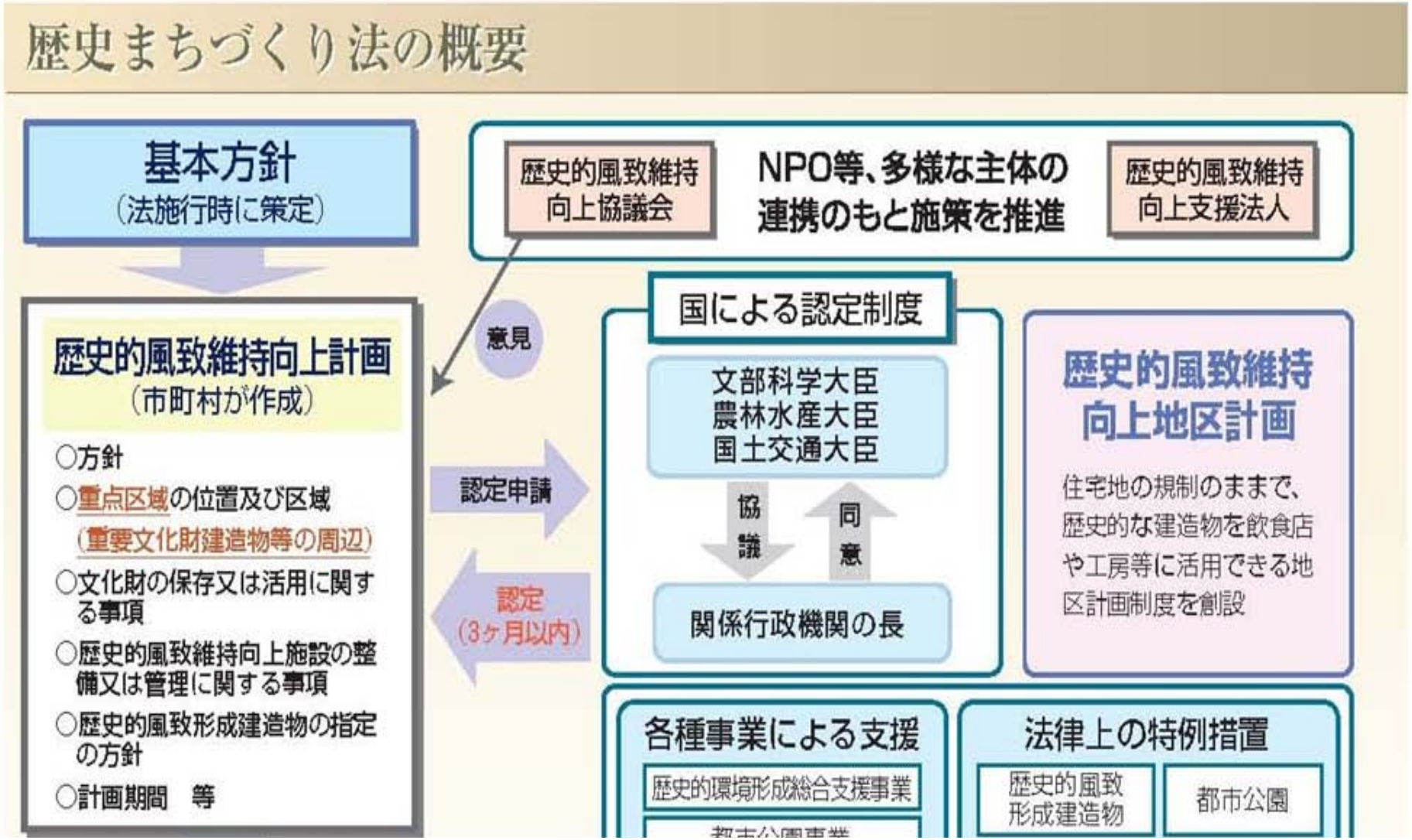
亀山市は、東海道・大和街道・伊勢別街道などにより、「東西文化の接点」として多くの旅人たちを迎えてきました。旅人たちによってもたらされた様々な文化の中で、亀山の気候風土や慣習に合ったものがこの地に根付き、長い年月の中で少しずつ姿を変えながら現在の亀山市都市の歴史的風致を形づくっています。

重点区域における施策・事業の概要

「歴史まちづくり法」
都市計画法を規制緩和
平成20年施行の法律
全国で15例程度の
認定事例しかない



「歴史まちづくり」の
パンフレット



市町村が地域連携により作成した
歴史まちづくり計画を国に申請して補助金を得る

市町村は、国としての基本方針に基づき、次に掲げる事項を記載した歴史的風致維持向上計画を策定し、国の認定を申請できます。なお、記載すべき事項については、法第５条第２項各号及び主務省令に定められています。

城など文化財の周辺を整備（公園や伝統文化）

JSCE 社団法人 土木学会

JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS English

サイト内検索 Google 検索

所在地マップ サイトマップ

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内 TEL 03-3355-3441(代表)

土木学会のご案内

- 学会概要
  - 事業 / 小史 / 構成
  - 組織 / 役員
  - 総会報告 / 公開資料
- 定款・倫理規定
- 宣言・提言
- 土木学会の
  - 会長室か
  - 理事会便
  - 論説

入会の

- 会員特典
- 入会案内
- 各種変更手

土木学会

ようこそ土木へ

ドボクの教室
総合学習支援

11月18日は
土木の日

奨土木遺産

木人物
ーカイブス

動する
術者たち

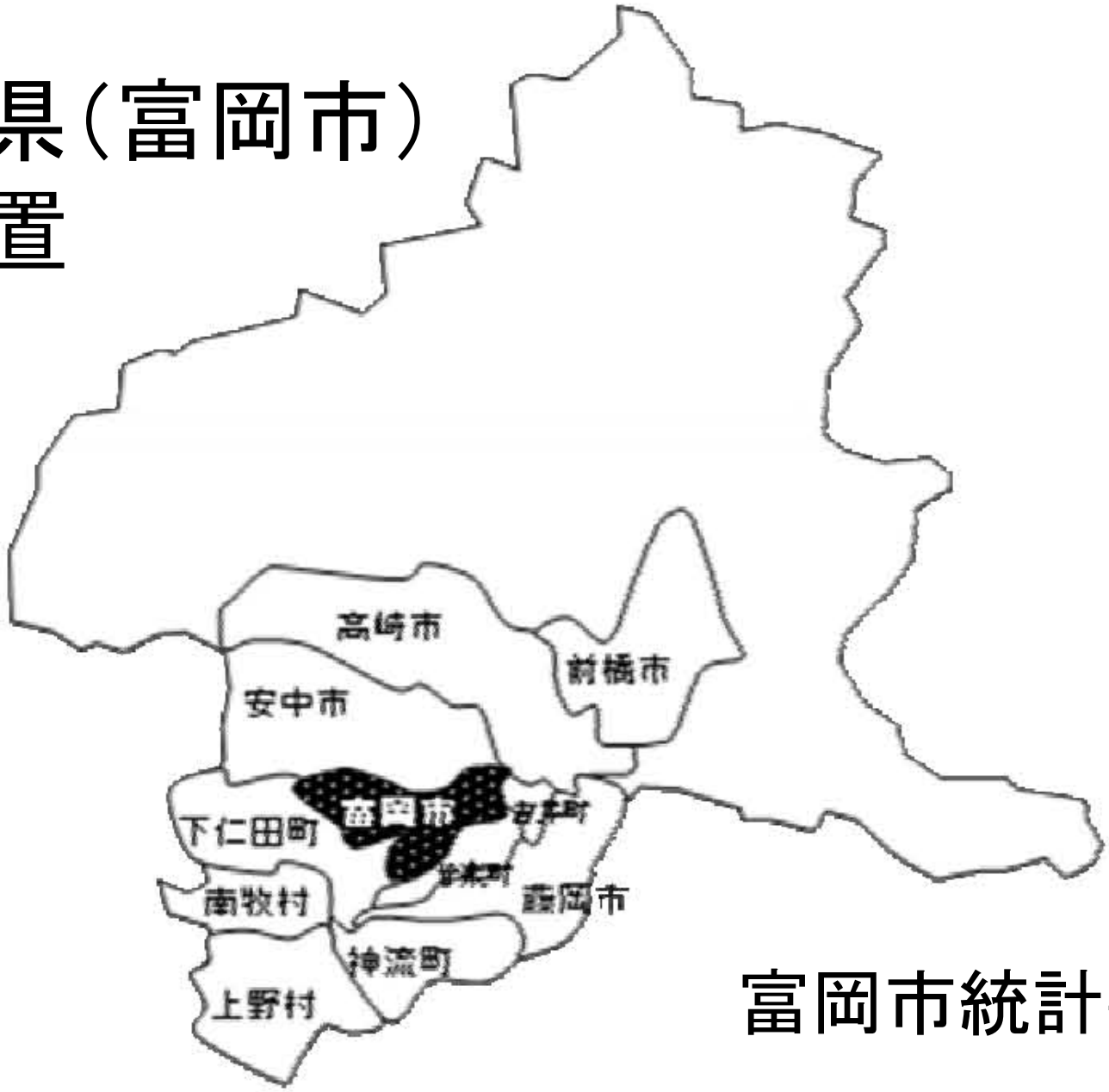
地域の歴史に関心をもつ
市民や行政担当者に対して
まちづくりへと関心の幅を拡げるために
（社）土木学会の助成金で
ワークショップを行うことにした

ワークショップとは

ワークショップ＝擬似（区別のつけにくいほど現実とよく似ている）体験

高大地域
（本校生徒、群馬県内の公立大学生、地域住民）
連携によるまちづくりのワークショップを
群馬県富岡市で実施

群馬県(富岡市)の位置



富岡市統計書より

ワークショップの概要

月日	内容	時間	プログラム
9月13日（日）	歴史的街並み及び富岡製糸場の見学と講演（28名）	10:00～10:30	開会式（「まちかど遊YOUプラザ」）
		10:30～11:30	徒歩で歴史的街並みの見学（都市計画課職員による案内）
		11:30～12:30	昼食
		12:30～13:00	徒歩で富岡製糸場まで移動
		13:00～14:00	富岡製糸場の見学（世界遺産推進課職員による案内）
		14:10～15:10	富岡製糸場の食堂にて講演「富岡製糸場の歴史的価値」 今井幹夫（富岡製糸場総合研究センター所長）
9月20日（日）	講演とグループディスカッション（23名）	10:00～10:40	講演「富岡市の都市計画について」（都市計画課）
		10:50～11:30	グループディスカッション事前学習（西尾敏和）
		11:30～12:30	昼食
		12:30～13:00	徒歩で「まちかど遊YOUプラザ」まで移動
		13:00～15:00	グループディスカッション（2グループに分かれて実施）
		15:00～15:10	閉会式

富岡市の歴史的街並み（富岡商工会議所作成）

歴史的街並みの見学（1日目午前、宮本町）

歴史的街並みの見学（1日目午前、城町通り）

歴史的街並みの見学（1日目午前、姫街道）

富岡製糸場の見学

（1日目午後）

富岡製糸場の見学（1日目午後、東繭倉庫）

富岡製糸場の見学（1日目午後、繰糸場）

富岡製糸場の見学（1日目午後、ブリューナ館）

富岡製糸場の見学

（1日目午後、敷地南側鏑川）

今井幹夫所長の講演（1日目午後、2号館食堂）

今井幹夫所長の講演内容

約100年間の操業で生糸生産量が約80倍増加

富岡製糸場の建物がフランスと我が国の特徴を程よく採り入れて生糸生産に適している

富岡製糸場で製糸技術を学んだ工女により全国各地へ技術が伝えられた

・・・富岡製糸場の歴史的価値について講演

富岡市都市計画課の講演（2日目午前）

富岡市都市計画課の講演内容

世界遺産登録を目指すために土地区画整理事業を見直し

景観行政団体（景観法に基づくまちづくりを実施）に移行して景観を活かしながら街並みを整備

歩行者道の確保と安全性の確保・電線類の地中化・官民の協力などがまちづくりの課題

・・・富岡市の都市計画について講演

グループディスカッション（2日目午後）

（グループ１）

現状の把握

良い面

オーセンシティ（本物志向、建造物保存）

近代化産業遺産としての価値

上州富岡駅から近い

改善すべき面

外への発信（富岡製糸場の見学場所が少ない）

アクセス（歩道が不便）

市民の目線（観光客に対する好意が感じられない）

（グループ２）

遺産としての価値の中身

・建造物自身に価値

・我が国の近代化に貢献

遺産と地域

・観光地として富岡は通過点

・居住者との話し合いを

・補修修繕してまで世界遺産登録を推進する必要があるのか

・街並みを直すと望まない近代化の可能性

ＰＲ方法

・ＰＲの中身にイメージキャラクター、食

・周辺地域の建造物との連携（体験など）

グループディスカッションのプロセス成果（各グループの模造紙の発言記録をもとに作成）

全体発表会（2日目午後）

グループ1の発表内容

問題点
①富岡製糸場の見学可能な場所が少ない

②行政と市民の間に意思疎通があまりない

解決策
①富岡製糸場の有効利用を図るために施設を積極的に公開して
　行政と市民が意見交換を行うこと

②世界遺産登録のメリットを行政が市民によく説明することで
　市民のまちづくりへのモチベーションを高めること

グループ2の発表内容

問題点
①街並みを補修修繕してまで世界遺産登録を推進する必要がない

②世界遺産登録のための街並み整備が主ではないかという危惧

③観光客の富岡市での滞在時間が短い

解決策
①観光地としてリピーターを呼ぶために座繰の体験

②富岡製糸場をPRするイメージキャラクター
　食べ物・ポケットティッシュを活用すること

③周辺地域の歴史的建造物を体験の場として活用すること

ワークショップの成果
（成果の活用面に向けた内容）

観点	課題	課題に対する解決策
価値	文化財の登録と地域生活とを関連づける。	市民は文化財の登録による不便な地域生活をする覚悟が必要である。
まちづくり	世界遺産を地域でどのように活用していくのかを明確にして、官民一体となったまちづくりを進める。	行政も市民も世界遺産が目的なのかまちづくりが目的なのかを明確化する。市民が自発的に行動する体制を作る。市民だけでは難しいため、行政の政治力、トップ力の非常に強い意思が必要である。
観光	富岡製糸場を核とした観光地を整備する。	富岡だけでなく安中、下仁田、高崎を巻き込み西毛地区全体としてその中にある観光資源を結び付けていく。

高崎工高と前橋工科大

富岡の活性化めぐり 連携ワークショップ

高崎工業高（田中勇一校長）が富岡市内で２日間、公立前橋工科大との間の高大地域連携ワークショップを開いた。近代化産業遺産活用をテーマに、参加者が旧官営富岡製糸場や市中心部の建造物などを見学し、地域の活性化策を討論した。

製糸場とその周辺を題材に、「普遍的価値」「まちづくり」「観光」の３分野の観点で、住民参加型まちづくりを演習する狙い。初日は28人、２日目は23人の高校生、大学生、地域住民が出席した。

参加者は製糸場東の住宅・商店密集地や場内を見学し、製糸場研究者から歴史的価値、市職員から都市計画の説明を受けた。討論では「製糸場の施設内部の大半が見学ができないなら、その情報を発信する手段が必要」などの意見が出た。

ワークショップに関する新聞記事（上毛新聞、2009年9月28日）

高大地域連携

「地域活性化のための近代化産業遺産活用ワークショップ」

活動報告書

主催：　群馬県立高崎工業高等学校
共催：　前橋市立前橋工科大学
後援：　群馬県富岡市、（社）土木学会

（現在の富岡製糸場全景　富岡市提供）

場所：「まちかど遊 YOU プラザ」（富岡市都市計画課世界遺産まちづくり担当）

時間：10:00～15:10

第 1 回目：平成 21 年 9 月 13 日（日）　歴史的街並み及び富岡製糸場の見学と講演

第 2 回目：平成 21 年 9 月 20 日（日）　講演とグループディスカッション

ワークショップの活動報告書（平成21年11月）

ワークショップ参加者等に配付

今後の取り組み

本活動の成果を活用して

富岡市の歴史的風致（歴史的価値の高い建造物

を取り巻く環境）の維持及び向上を図るために

以下の技術的提案を富岡市に行う

（１）歴史的風致の維持及び向上に関する方針

（２）歴史的風致を維持及び向上させる重点地区

（３）地域における文化財の保全及び活用と施設の整備

（４）歴史的風致を形成する建造物の指定及び管理

についてそれぞれ提案

最後に、●技術士を目指す理由として

国から認められた（自称ではない）技術者として
社会貢献をするため

●技術士になったらやりたいこととして
（現在からやっていること）

群馬県の歴史まちづくりの推進
※任意団体「まちづくり推進ぐんま」の設立（3月）
（6月、群馬県認証のNPO法人となった）
13名のメンバー（技術士3名、技術士補1名）